

SEKISUI HOUSE - KUMA LAB が グローバルで活躍する建築家、アーティスト、哲学者による レクチャーシリーズを12月より開講

～積水ハウス、東京大学 隈研吾特別教授と協働し、世界中の若手建築家育成を支援～

積水ハウスと東京大学が、「未来の住まいのあり方」をテーマとした研究及び世界中の若手建築家の育成を目的に本年6月に設置した SEKISUI HOUSE - KUMA LAB は、2020年12月1日より、オープン講座として、「レクチャーシリーズ」をオンライン形式（Zoom Webinar）で開講します。

レクチャーシリーズは、「自然」をテーマに、国内外の建築家、アーティスト、哲学者などグローバルに活躍する著名人を講師として招き、講師自身の研究テーマや活動内容を中心に講義する内容となっています。コロナ禍においても、果敢にチャレンジを続け、様々な分野で研究活動を進める著名人が現在考えていることをお伝えします。

現時点で受付を開始している講座は、以下の通りです。

- ① 日時：12月1日（火）18:00～19:00 *英語/タイトル：Breathing Volumes/登壇者：Marco Canevacci + Yena Young (Plastique Fantastique) / マルコ・カネヴァティ+イエナ・ヤン（プラスチック・ファンタスティック）
- ② 日時：12月8日（火）18:00～19:00 *英語/タイトル：Creatures/登壇者：Ricardo de Ostos (NaJa & deOstos studio)（建築家）/リカルド・デ・オストス（ナヤ・アンド・デ・オストスタジオ）
- ③ 日時：12月15日（火）18:00～19:00 *日本語/タイトル：「超・いま・ここ」 過去が現在と同期することについて/登壇者：谷口暁彦 / たにぐち・あきひこ

【レクチャーシリーズの開催予定及び申し込み方法】

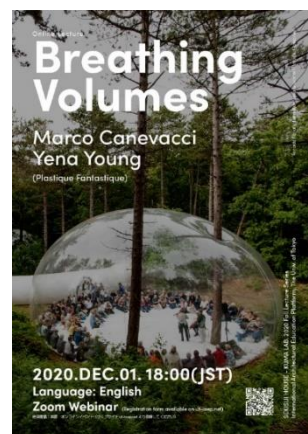
- ◇ 現時点で開催が決定している講座は以下の Website、SNS をご参照ください。以降の予定については、開催が決定次第、公表します。

Website: ut-iaep.net

Facebook: <https://www.facebook.com/Sekisui-House-KUMA-LAB-The-University-of-Tokyo-315676605197660>

Instagram: @ut_iaep

- ◇ 現時点で受講の受付を開始している講座については次頁のとおりです。受講を希望される場合は、各講座の「申し込み」のリンクよりご登録下さい。



お問合せ先 積水ハウス株式会社 広報部 大阪: 06-6440-3021 東京: 03-5575-1740
大阪市北区大淀中 1-1-88 梅田スカイビル タワーイースト

① 12月1日(火) 18:00~19:00 *英語

- タイトル : Breathing Volumes
- 登壇者 : Marco Canevacci + Yena Young (Plastique Fantastique) / マルコ・カネヴァティ+イエナ・ヤン (プラスチック・ファンタスティック)
略歴 : プラスチック・ファンタスティックは、1999年にベルリンで設立され、都市の中での様々な実験・実演を行うアーティスト集団。都市を実験室として捉え、一時的で刹那的な活動のための代替的で適応性のある低エネルギーの空間を探求する。透明で軽量、移動可能なインスタレーションは最もシンプルな構造物でありながら、公共空間を活性化し、創造するだけでなく、市民を創造的なプロセスに取り込んでいく。
- Website : <https://plastique-fantastique.de/>
- 申し込み : https://zoom.us/webinar/register/WN_sFpMV7d7Tia3hcdIhtROng

② 12月8日(火) 18:00~19:00 *英語

- タイトル : Creatures
- 登壇者 : Ricardo de Ostos (NaJa & deOstos studio) (建築家) / リカルド・デ・オストス (ナヤ・アンド・デ・オストスタジオ)
- 略歴 : ロンドンを拠点とする設計スタジオ NaJa & deOstos studio の共同ディレクター。日々変化する環境や文化的文脈を踏まえ、建築的プロジェクトやフィクションを制作する。また英国建築協会附属建築学校 (AA スクール) とバートレット建築学校で教鞭を執り、主な共著者に『The Hanging Cemetery of Baghdad』 (Springer Wien/New York、2006年)、『Ambiguous Spaces』 (Princeton Press、2007年)、『Scavengers and Other Creatures in Promised Lands』 (AA、2017年) がある。
- Website : <http://naja-deostos.com/news/1550/>
- 申し込み : https://zoom.us/webinar/register/WN_8t_X4PdxR5WodWNOMVGreg

③ 12月15日(火) 18:00~19:00 *日本語

- タイトル : 「超・いま・ここ」 過去が現在と同期することについて
- 登壇者 : 谷口暁彦 / たにぐち・あきひこ
- 略歴 : メディア・アーティスト。多摩美術大学情報デザイン学科メディア芸術コース講師。メディア・アート、ネット・アート、映像、彫刻など、さまざまな形態で作品を発表している。主な展覧会に『[インターネット アート これから] — ポスト・インターネットのリアリティ』 (ICC、2012年)、『SeMA Biennale Mediacity Seoul 2016』 (ソウル市立美術館、2016年)、『イン・ア・ゲームスケープ ヴィデオ・ゲームの風景, リアリティ, 物語, 自我』 (ICC、2018年) 個展に『滲み出る板』 (GALLERY MIDORI。SO、東京、2015年)、『超・いま・ここ』 (CALM & PUNK GALLERY、東京、2017年) など。
- Website : <https://okikata.org/>
- 申し込み : https://zoom.us/webinar/register/WN_YL9dftLcQG-GdEzvNFm9Ew

SEKISUI HOUSE - KUMA LAB

SEKISUI HOUSE - KUMA LAB は、2020年6月に、建築学における最先端のデジタルテクノロジーの活用研究と国際的な人材育成を目指す東京大学と、「わが家」を世界一幸せな場所にする、というグローバルビジョンを掲げ、ESG経営のリーディングカンパニーを目指す積水ハウスが、「未来の住まいのあり方」をテーマとした研究及び世界中の若手建築家の育成の場として、隈研吾・東京大学特別教授を中心に設立した総括寄付講座です。

国際デザインスタジオ、デジタルファブリケーションセンター、デジタルアーカイブセンターの3つの拠点の活動を展開することによって、コンピューショナル・デザインやポストデジタル、アーバンデザイン、建築史学などの建築学の各領域における国際的な研究・教育拠点の確立を目指しながら、「未来の住まいのあり方」を探究します。



Photo © J.C. Carbonne

【ご参考：ニュースリリース】

東京大学 × 積水ハウス「国際建築教育拠点（SEKISUI HOUSE - KUMA LAB）」総括寄付講座を設立
デジタルテクノロジーの活用・グローバルなプラットフォームで「未来の住まいのあり方」を研究
https://www.sekisuihouse.co.jp/library/company/topics/detail/_icsFiles/afieldfile/2020/06/29/20200629.pdf